

2014年3月期 第2四半期決算 参考資料

I サマリー情報	P.1
① 経営成績	P.1
② 財政状態	P.1
II 2014年3月期 第2四半期実績	P.2
① 四半期損益計算書	P.2
② 製商品別売上高	P.4
③ 四半期貸借対照表	P.5
④ 四半期キャッシュ・フロー計算書	P.6
⑤ 設備投資の状況	P.7
⑥ 非資金項目	P.7
⑦ 研究開発の状況	P.7
III 2014年3月期 業績予想	P.8
① 損益計算書	P.8
② 製商品別売上高	P.10
③ 設備投資の状況	P.11
④ 非資金項目	P.11
⑤ 配当	P.11
【将来に関する記述等についてのご注意】	P.11

※ 本資料は累計期間に係る情報を掲載しており、百万円未満を切捨てて表示しております。

2013年10月31日



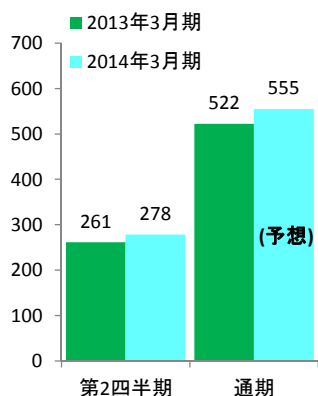
鳥居薬品株式会社

I サマリー情報

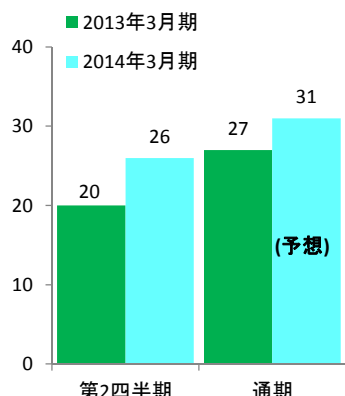
① 経営成績

(単位: 百万円)	2013年3月期 第2四半期 A	2014年3月期 第2四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A	2013年3月期 通期実績	2014年3月期 修正予想 C	対予想 進捗率(%) B/C
売上高	26,158	27,858	1,699	6.5	52,294	55,500	50.2
営業利益	2,087	2,601	513	24.6	2,794	3,100	83.9
経常利益	2,239	2,684	444	19.9	2,952	3,300	81.3
四半期(当期)純利益	1,283	1,562	279	21.7	1,849	1,900	82.3
(参考)							
研究開発費	3,686	3,252	△433	△11.8	7,824	7,000	46.5
1株当たり四半期(当期) 純利益(EPS)	(円) 45.36	55.22	9.86		65.36	67.14	
自己資本四半期(当期) 純利益率(ROE)	(%) 1.7	2.0	0.3		2.4	—	
総資産経常利益率	(%) 2.5	3.0	0.5		3.3	—	
売上高営業利益率	(%) 8.0	9.3	1.3		5.3	—	
総資産四半期(当期) 純利益率(ROA)	(%) 1.4	1.7	0.3		2.1	—	

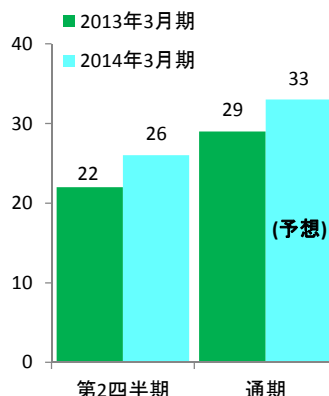
売上高 (億円)



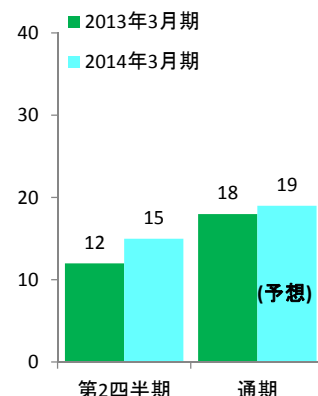
営業利益 (億円)



経常利益 (億円)



四半期(当期)純利益 (億円)



② 財政状態

(単位: 百万円)	2013年3月期 第2四半期 A	2014年3月期 第2四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
総資産	91,350	89,853	△1,496	△1.6
純資産	76,700	77,653	952	1.2
自己資本比率	(%) 84.0	86.4	2.4	
1株当たり純資産(BPS)	(円) 2,710.18	2,743.86	33.68	

Ⅱ 2014年3月期 第2四半期実績

① 四半期損益計算書

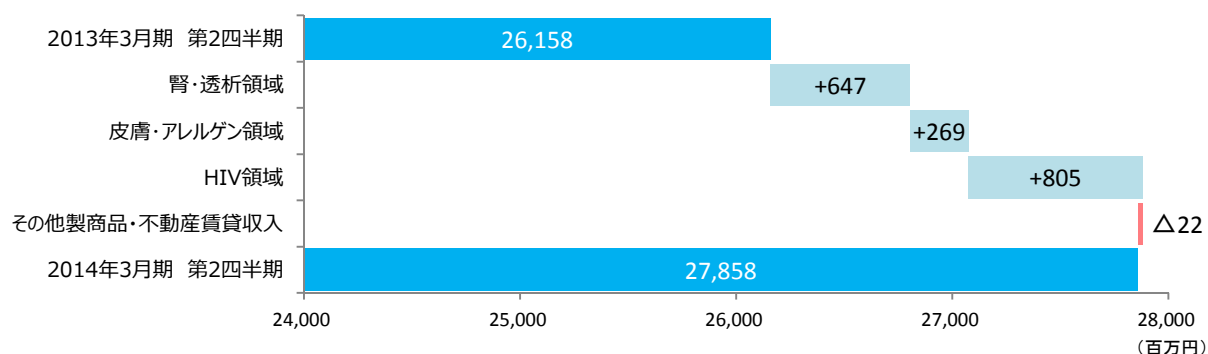
(単位: 百万円)	2013年3月期 第2四半期 A	2014年3月期 第2四半期 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
売上高	26,158	27,858	1,699	6.5
製商品売上高	26,044	27,745	1,701	6.5
腎・透析領域	10,538	11,185	647	6.1
皮膚・アレルギー領域	6,196	6,466	269	4.3
HIV領域	5,923	6,729	805	13.6
その他	3,385	3,364	△20	△0.6
不動産賃貸収入	114	112	△1	△1.5
売上原価	11,202	12,174	971	8.7
製商品売上原価	11,172	12,145	973	8.7
不動産賃貸原価	30	29	△1	△4.9
売上総利益	14,956	15,683	727	4.9
販売費及び一般管理費	12,868	13,082	213	1.7
販管費（研究開発費除く）	9,182	9,829	647	7.1
研究開発費	3,686	3,252	△433	△11.8
営業利益	2,087	2,601	513	24.6
営業外収益	155	92	△62	－
営業外費用	3	9	6	－
経常利益	2,239	2,684	444	19.9
特別損失	28	2	△25	－
税引前四半期純利益	2,211	2,681	470	21.3
法人税等	927	1,118	191	20.6
四半期純利益	1,283	1,562	279	21.7

(参考) 売上高に対する比率

(単位: %)	2013年3月期 第2四半期 A	2014年3月期 第2四半期 B	増減 B-A
売上原価	42.8	43.7	0.9
販売費及び一般管理費	49.2	47.0	△2.2
研究開発費	14.1	11.7	△2.4
営業利益	8.0	9.3	1.3
経常利益	8.6	9.6	1.0
四半期純利益	4.9	5.6	0.7

【対前年同期実績増減要因】

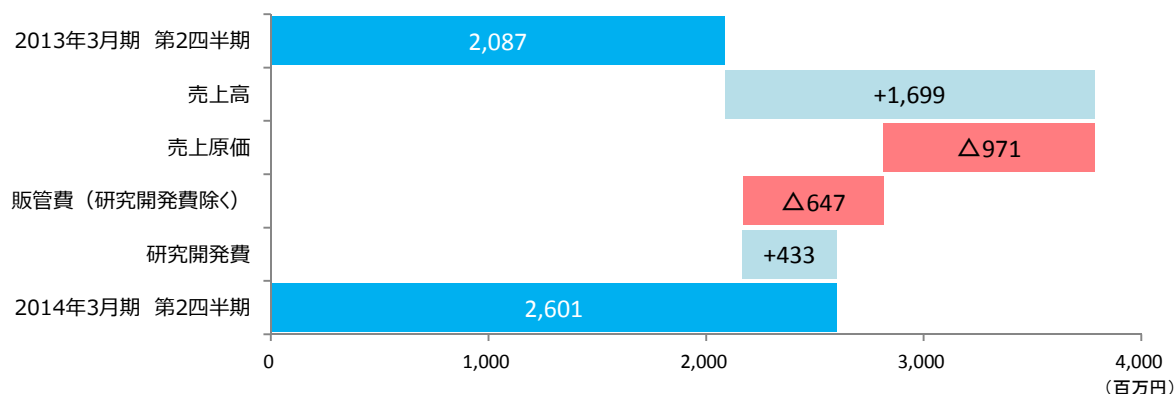
売上高（27,858百万円 対前年同期+1,699百万円）



主な増減要因

腎・透析領域	：レミッチカプセル	+856百万円	、	ケイキサレート	+176百万円
	注射用フサン	△203百万円	、	ユリノーム錠	△182百万円
皮膚・アレルギー領域	：アンテベート	+251百万円			
HIV領域	：ツルバダ配合錠	+535百万円	、	スタビルド配合錠	+313百万円
※詳細はP.4「② 製商品別売上高」を参照					

営業利益（2,601百万円 対前年同期+513百万円）



主な増減要因

売上原価	：売上高の増加、販売品目の構成変化
販管費（研究開発費除く）	：販売促進費、給料及び手当、販売権（スタビルド配合錠）の償却費の増加
研究開発費	：臨床試験費用の減少

経常利益（2,684百万円 対前年同期+444百万円）

特記事項：特になし

四半期純利益（1,562百万円 対前年同期+279百万円）

特記事項：特になし

② 製商品別売上高

(単位: 百万円)	2013年3月期 第2四半期 A	2014年3月期 第2四半期 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
製商品売上高	26,044	27,745	1,701	6.5
レミッチカプセル	5,896	6,753	856	14.5
経口そう痒症改善剤 [腎・透析領域]				
ツルバダ配合錠	5,671	6,206	535	9.4
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV領域]				
アンテベート ※1	3,403	3,655	251	7.4
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚・アレルギー領域]				
注射用フサン ※1	2,241	2,037	△203	△9.1
蛋白分解酵素阻害剤 [腎・透析領域]				
ユリノーム錠 ※1	1,443	1,261	△182	△12.6
尿酸排泄薬(高尿酸血症治療剤) [腎・透析領域]				
ケイキサレート ※1	957	1,134	176	18.4
高カリウム血症改善剤 [腎・透析領域]				
ビオスリー	900	993	92	10.3
活性生菌製剤(整腸剤) [その他]				
ゼフナート	930	952	22	2.4
抗真菌薬 [皮膚・アレルギー領域]				
ドボネックス軟膏	966	934	△32	△3.4
尋常性乾癬治療剤 [皮膚・アレルギー領域]				
ロコイド ※1	694	714	20	2.9
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚・アレルギー領域]				
マグセント	636	637	1	0.2
切迫早産における子宮収縮抑制剤 子癇の発症抑制・治療剤 [その他]				
スタビルド配合錠 ※2	—	313	313	—
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV領域]				
その他製商品	2,302	2,152	△150	△6.5

※1 自社品

※2 「スタビルド配合錠」は、本年5月から販売を開始しております。

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位: 百万円)	2013年3月期 第2四半期 A	2014年3月期 第2四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
自社品売上高	9,739	9,828	89	0.9
自社品比率 (%)	37.4	35.4	△2.0	—

③ 四半期貸借対照表

(単位: 百万円)	2013年3月期	2014年3月期 第2四半期	増減額	増減率 (%)	構成比 (%)
	A	B	B-A	(B-A)/A	(当四半期)
流動資産	71,492	69,835	△1,657	△2.3	77.7
現金及び預金	5,903	336	△5,566		
キャッシュ・マネジメント・システム預託金	6,324	24,185	17,861		
受取手形及び売掛金	20,248	21,373	1,124		
有価証券	29,197	13,608	△15,588		
たな卸資産	7,530	8,210	679		
その他	2,288	2,120	△167		
固定資産	19,857	20,018	160	0.8	22.3
有形固定資産	5,652	5,942	290		
無形固定資産	639	586	△52		
投資その他の資産	13,566	13,489	△77		
投資有価証券	5,379	5,692	312		
長期前払費用	6,187	5,805	△382		
その他	1,999	1,991	△7		
資産合計	91,350	89,853	△1,496	△1.6	100.0
流動負債	13,969	11,295	△2,674	△19.1	12.6
買掛金	5,674	5,463	△210		
未払金	5,280	2,145	△3,135		
未払法人税等	713	1,159	446		
賞与引当金	1,210	1,280	70		
その他	1,090	1,245	155		
固定負債	680	905	224	33.0	1.0
負債合計	14,650	12,200	△2,449	△16.7	13.6
株主資本	76,341	77,338	996	1.3	86.1
評価・換算差額等	358	314	△43	△12.2	0.3
純資産合計	76,700	77,653	952	1.2	86.4
負債純資産合計	91,350	89,853	△1,496	△1.6	100.0

主な増減要因

(流動資産)

- 受取手形及び売掛金 : 売上高の増加による増加
- 有価証券 : 譲渡性預金及び債券の償還による減少
- たな卸資産 : 商品の増加

(固定資産)

- 投資有価証券 : 債券の取得による増加、有価証券への振替による減少
- 長期前払費用 : 販売権の償却による減少

(流動負債)

- 未払金 : 販売権（スタビルド配合錠）の取得に係る契約一時金の支払による減少

(純資産)

- 株主資本 : 四半期純利益による増加、配当金の支払による減少

④ 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)	2013年3月期 第2四半期 A	2014年3月期 第2四半期 B	増減額 B-A
税引前四半期純利益	2,211	2,681	470
減価償却費	504	506	2
売上債権の増減額 (△は増加)	△373	△1,124	△750
たな卸資産の増減額 (△は増加)	684	△679	△1,364
仕入債務の増減額 (△は減少)	44	△210	△254
未払金の増減額 (△は減少)	2,487	△3,192	△5,679
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△3,455	382	3,838
法人税等の支払額	△1,660	△671	989
その他	△599	374	973
営業活動によるキャッシュ・フロー	△157	△1,933	△1,775
有形固定資産の取得による支出	△782	△277	504
無形固定資産の取得による支出	△99	△49	49
その他	1,323	19,200	17,876
投資活動によるキャッシュ・フロー	442	18,873	18,431
財務活動によるキャッシュ・フロー	△574	△645	△71
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△289	16,294	16,584
現金及び現金同等物の期首残高	17,382	17,228	△154
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,092	33,522	16,430

(注) 現金及び現金同等物は、現金及び預金（預入期間が3ヶ月を超える定期預金を除く）、キャッシュ・マネージメント・システム預託金、有価証券（取得日から償還日迄の期間が3ヶ月を超えるものを除く）からなっております。

主な増減要因

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

未払金の増減額 : 当期 販売権（スタビルド配合錠）の取得に係る契約一時金の支払
 長期前払費用の増減額 : 前期 販売権（スタビルド配合錠等）の取得

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

その他 : 当期 有価証券の償還

⑤ 設備投資の状況

(単位: 百万円)	2013年3月期 第2四半期 A	2014年3月期 第2四半期 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
設備投資額	981	747	△233	△23.8
有形固定資産	892	699	△192	△21.6
無形固定資産	88	47	△41	△46.3

当期の設備投資の内容

有形固定資産：主に生産能力向上を目的とする製造設備への投資

無形固定資産：主に営業サポートシステム等、業務の効率化を目的とするソフトウェアへの投資

⑥ 非資金項目

(単位: 百万円)	2013年3月期 第2四半期 A	2014年3月期 第2四半期 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
減価償却費	504	506	2	0.5
長期前払費用償却費	295	409	114	38.6

⑦ 研究開発の状況

開発番号	予定適応症等	剤形等	開発段階（国内）					備考
			Phase I	Phase II	Phase III	申請	承認	
腎・透析領域								
JTT-751	高リン血症	経口剤				申請		・ケリックス社と日本における独占的 開発・商業化権に関するライセンス 契約を締結 ・日本たばこ産業(株)との共同開発 ・日本たばこ産業(株)が2013年1 月7日に製造販売承認申請
アレルギー領域								
TO-194SL	スギ花粉症 （減感作（免疫）療法薬）	舌下液				申請		・自社開発 ・2012年12月25日に製造販売承 認申請
TO-203	ダニを抗原とするアレルギー疾患 （喘息およびアレルギー性鼻炎） （減感作（免疫）療法薬）	舌下錠		Phase II / III				・ALK社と日本における独占的開 発・販売権に関するライセンス契約を 締結 ・自社開発
TO-204	ダニを抗原とするアレルギー疾患 （喘息およびアレルギー性鼻炎） （減感作（免疫）療法薬）	注射剤			Phase III			・ALK社と日本における独占的開 発・販売権に関するライセンス契約を 締結 ・自社開発
TO-205	アレルギー性疾患のアレルゲンの確認 （アレルゲン検査薬（ダニ））	注射剤			Phase III			・ALK社と日本における独占的開 発・販売権に関するライセンス契約を 締結 ・自社開発
TO-206	スギ花粉症 （減感作（免疫）療法薬）	舌下錠	Phase I					・自社開発
JTE-350	アレルギー皮膚テスト実施時の陽性コン トロール（ヒスタミン塩酸塩製剤）	注射剤			Phase III			・ALK社と日本における独占的開 発・商業化権に関するライセンス契 約を締結 ・日本たばこ産業(株)との共同開発

※ 厚生労働省主催の「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」における開発企業募集品であります。

前回公表時（2013年7月29日）からの変更点：TO-206の国内Phase I の開始、JTE-350の国内Phase III の開始

Ⅲ 2014年3月期 業績予想

① 損益計算書

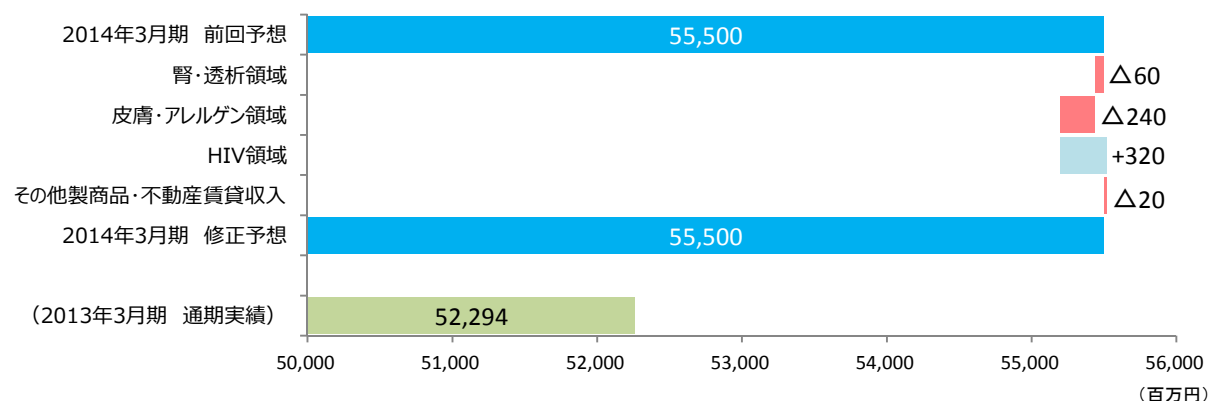
(単位:百万円)	2014年3月期 前回予想 A	2014年3月期 修正予想 B	修正額 B-A	2013年3月期 通期実績 C	増減額 B-C	増減率 (%) (B-C)/C
売上高	55,500	55,500	0	52,294	3,205	6.1
製商品売上高	55,280	55,280	0	52,067	3,212	6.2
腎・透析領域	22,580	22,520	△60	21,373	1,146	5.4
皮膚・アレルギー領域	12,670	12,430	△240	11,942	487	4.1
HIV領域	13,560	13,880	320	12,073	1,806	15.0
その他	6,470	6,450	△20	6,678	△228	△3.4
不動産賃貸収入	220	220	0	226	△6	△3.1
売上原価	24,800	24,900	100	22,841	2,058	9.0
売上総利益	30,700	30,600	△100	29,452	1,147	3.9
販売費及び一般管理費	28,000	27,500	△500	26,658	841	3.2
販管費（研究開発費除く）	20,800	20,500	△300	18,834	1,665	8.8
研究開発費	7,200	7,000	△200	7,824	△824	△10.5
営業利益	2,700	3,100	400	2,794	305	10.9
経常利益	2,800	3,300	500	2,952	347	11.8
当期純利益	1,700	1,900	200	1,849	50	2.7

(参考) 売上高に対する比率

(単位: %)	2014年3月期 前回予想 A	2014年3月期 修正予想 B	増減 B-A	2013年3月期 通期実績 C	増減 B-C
売上原価	44.7	44.9	0.2	43.7	1.2
販売費及び一般管理費	50.4	49.5	△0.9	51.0	△1.5
研究開発費	13.0	12.6	△0.4	15.0	△2.4
営業利益	4.9	5.6	0.7	5.3	0.3
経常利益	5.0	5.9	0.9	5.6	0.3
当期純利益	3.1	3.4	0.3	3.5	△0.1

【2014年3月期 対前回予想増減要因】

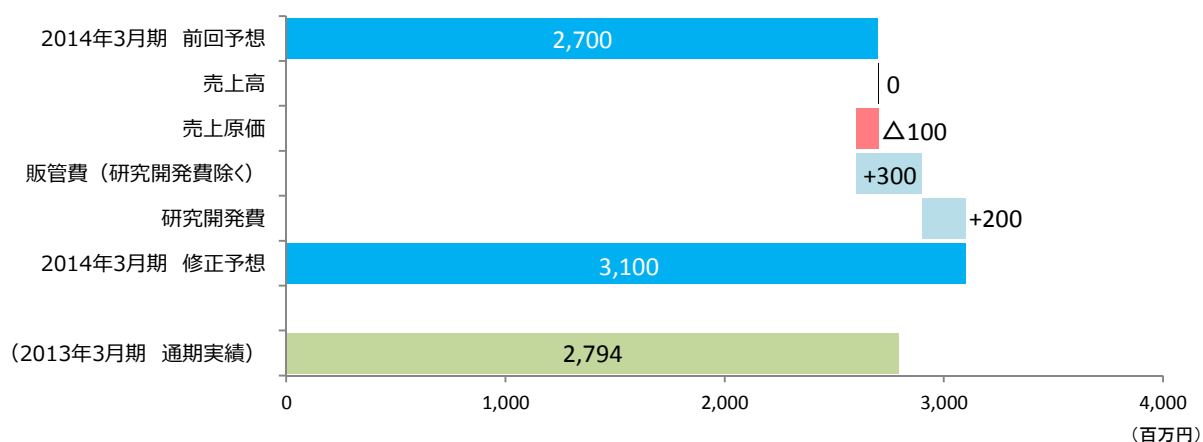
売上高（55,500百万円 対前回予想変更なし）



主な増減要因

腎・透析領域	：注射用フサン	△310百万円	レミッチカプセル	+150百万円
	ユリノーム錠	+100百万円		
皮膚・アレルギー領域	：ドボネックス軟膏	△120百万円		
HIV領域	：ツルバダ配合錠	+600百万円	スタリビルド配合錠	△250百万円
※詳細はP.10「② 製商品別売上高」を参照				

営業利益（3,100百万円 対前回予想+400百万円）



主な増減要因

売上原価	：販売品目の構成変化
販管費（研究開発費除く）	：学術費の減少
研究開発費	：臨床試験費用の減少

経常利益（3,300百万円 対前回予想+500百万円）

特記事項：特になし

当期純利益（1,900百万円 対前回予想+200百万円）

特記事項：特になし

② 製商品別売上高

(単位:百万円)	2014年3月期 前回予想 A	2014年3月期 修正予想 B	修正額 B-A	2013年3月期 通期実績 C	増減額 B-C	増減率 (%) (B-C)/C
製商品売上高	55,280	55,280	0	52,067	3,212	6.2
レミッチカプセル	13,600	13,750	150	12,106	1,643	13.6
経口そう痒症改善剤 [腎・透析領域]						
ツルバダ配合錠	11,400	12,000	600	11,594	405	3.5
抗ウイルス化学療法剤〔抗HIV薬〕 [HIV領域]						
アンテベート ※1	7,090	7,180	90	6,766	413	6.1
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚・アレルギー領域]						
注射用フサン ※1	4,340	4,030	△310	4,533	△503	△11.1
蛋白分解酵素阻害剤 [腎・透析領域]						
ユリノーム錠 ※1	2,300	2,400	100	2,751	△351	△12.8
尿酸排泄薬〔高尿酸血症治療剤〕 [腎・透析領域]						
ケイキサレート ※1	2,340	2,340	0	1,982	357	18.0
高カルウム血症改善剤 [腎・透析領域]						
ビオスリー	2,030	1,990	△40	1,886	103	5.5
活性生菌製剤〔整腸剤〕 [その他]						
ドボネックス軟膏	1,950	1,830	△120	1,892	△62	△3.3
尋常性乾癬治療剤 [皮膚・アレルギー領域]						
ゼフナート	1,510	1,600	90	1,505	94	6.3
抗真菌薬 [皮膚・アレルギー領域]						
スタビルド配合錠 ※2	1,740	1,490	△250	—	1,490	—
抗ウイルス化学療法剤〔抗HIV薬〕 [HIV領域]						
ロコイド ※1	1,360	1,390	30	1,350	39	3.0
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚・アレルギー領域]						
マグセント	1,370	1,340	△30	1,270	69	5.5
切迫早産における子宮収縮抑制剤 子癇の発症抑制・治療剤 [その他]						
その他製商品	4,250	3,940	△310	4,428	△488	△11.0

※1 自社品

※2 「スタビルド配合錠」は、本年5月から販売を開始しております。

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位:百万円)	2014年3月期 前回予想 A	2014年3月期 修正予想 B	修正額(率) B-A	2013年3月期 通期実績 C	増減 B-C	増減率 (%) (B-C)/C
自社品売上高	19,700	19,310	△390	19,380	△70	△0.4
自社品比率 (%)	35.6	34.9	△0.7	37.2	△2.3	—

③ 設備投資の状況

(単位:百万円)	2014年3月期 前回予想 A	2014年3月期 修正予想 B	修正額 B-A	2013年3月期 通期実績 C	増減額 B-C	増減率 (%) (B-C)/C
設備投資額	957	1,316	359	1,374	△58	△4.3
有形固定資産	748	1,090	342	1,241	△151	△12.2
無形固定資産	209	226	17	132	93	70.4

設備投資の内容

有形固定資産：主に生産能力向上を目的とする製造設備への投資

無形固定資産：主に営業サポートシステム等、業務の効率化を目的とするソフトウェアへの投資

④ 非資金項目

(単位:百万円)	2014年3月期 前回予想 A	2014年3月期 修正予想 B	修正額 B-A	2013年3月期 通期実績 C	増減額 B-C	増減率 (%) (B-C)/C
減価償却費	1,164	1,015	△149	1,061	△46	△4.4

⑤ 配当

	2014年3月期 前回予想 A	2014年3月期 修正予想 B	修正額(率) B-A	2013年3月期 通期実績 C	増減 B-C	増減率 (%) (B-C)/C
1株当たり配当金 ※ (円)	40	40	0	40	0	0.0
配当性向 (%)	66.6	59.6	△7.0	61.2	△1.6	—

※ 2013年10月31日開催の取締役会において、2014年3月期の中間配当を1株当たり20円にて行う旨決議しております。

【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見通しを見直すとは限りません。なお、現時点において、実際の業績等に影響を与えるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げることができます。（かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。）

- ◇ 薬事法その他の法令または規制の変化
- ◇ 薬価の改定
- ◇ 副作用の発現

- ◇ 研究開発の遅延または中止
- ◇ 製商品の供給停止
- ◇ 訴訟の提起